

登録団体概要書

(2024 年 2月作成)

(ふりがな) 団 体 名		とくていひえいりかつうどうほうじん ゆーけーどっぐせらびーきょうかい 特定非営利活動法人 UK ドッグセラピー協会			
代表者職・氏名		理事長 山地 幸司			
主たる事務所の 所 在 地		〒763-0085 香川県丸亀市飯野町東分 1399-2			
連 絡 先 等		電 話	0877-22-1820	F A X	0877-22-1820
		e - mail	uk.dog.therapy@gmail.com		
		ホームページ	https://www.uk-dog-therapy.com/		
法人設立年月		平成 28 年 10 月		正会員数	24 人
活 動 目 的 (定款に記載された 目 的)		高齢者の方、児童、一般の方々に対して、アニマルセラピー活動（動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育）を中心にセラピードッグやファシリテイドッグの育成と普及に関する事業を行い、動物愛護の精神にのっとり、動物の社会参加についての普及、啓蒙、動物による人々の生活の質の向上に寄与すること。			
主たる活動分野		保健、医療または福祉の増進・社会教育の推進・子供の健全育成を図る活動分野			
活 動 状 況	主 な 活 動	1) 特定非営利活動に関わる事業 (1) アニマルセラピーの実施、また実施の為の調査、研究事業 (2) セラピードッグ、ファシリテイドッグの育成、ハンドラー教育事業 (3) アニマルセラピーに関する広報、普及事業 (4) その他この法人の目的達成のための調査、研究事業			
	活 動 地 域	高齢者施設：丸亀市 子ども支援の場（不登校生教育支援室、子供食堂）：高松市、丸亀市、観音寺市 小中学校：県内全域			
	活 動 頻 度	毎月1回高齢者施設へ犬を同伴し訪問。2020年12月からはオンライン会議 を利用し継続交流 2023年9月より訪問活動再開。 不登校生や子供食堂支援の場へ2か月に1度程度訪問。 不定期に親子ふれあい活動、親子講座 小学校での活動実施。			
	過 去 の 事 業 実 績	2016年から2021年8月までに高齢者施設訪問74回、幼稚園訪問5回、教育支援センター3回、子供食堂2回、アニマルセラピー勉強会、ハンドラー講習会、大型児童館訪問、動物病院訪問、福祉フェスティバル参加、ドッグセラピー市民講座、一人親NPO団体等 2021年度9月～高齢者施設オンライン交流6回、教育支援センター2回自殺防止オンライン個別交流2回、いのちのせんせい授業派遣6回 2022年度 高齢者施設オンライン6回、対面1回、不登校生への対面訪問セラピー活動4回、夏休み中の放課後児童教室オンライン3回、困難を抱える子供支援4家族、子供教室での講座、綾歌図書館「犬に読み聞かせ」の活動その他ヒトと動物の関係学術大会事例発表。 2023年度2月まで・高齢者施設へ訪問5回、不登校生の自治体教育支援センター4回、7月丸亀市民交流センター親子講座2回、7月丸亀市市民交流センター内月間パネル展示。			

今後の活動方針	高齢者施設や幼稚園への、協会員飼育のセラピー犬を伴った動物介在活動ふれあいを継続していくとともに、2020年より開始した困難を抱える子供の支援の場へ、目的を持った動物介在介入として教育行政や福祉と連携し、犬を心の支援として必要としている子供たちへ積極的に届けていきたい。
県民へのPR	わたくしたち UK ドッグセラピー協会所属の飼い主は、愛犬と社会貢献としてのセラピー活動ができるよう、毎日の健康、衛生管理やトレーニングなど愛情を注いで育てています。犬と目が合うと笑顔が増え、思わず手を伸ばしたくなります。その人もその周りにいる人も幸せになるセラピー犬との活動を広め、多くの人々に届けるため、ぜひ応援お願いいたします。

(注1) 団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

活動状況報告書

(2024年 2月作成)

団体名 特定非営利活動法人UKドッグセラピー協会

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
広く県民を対象とするNPO活動を行っていること	<p>県教育委員会事業「いのちのせんせい」派遣講師として、県下小中学校生へ、セラピー犬と訪問授業をし、ふれあいを体験するとともに、犬の育成における動物福祉、飼育についても授業をし、動物愛護の県民への啓蒙活動を引き続き実施。</p>
より公益性の高いNPO活動を行っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の福祉の増進を目的とする事業 県内の高齢者施設からの要望に応じ、設立以来のべ2500名を超える入所者様へ、セラピー犬同伴訪問。2021年度からはコロナ禍において、孤立する施設入所者様にむけてオンライン交流を実施。2023年度からセラピー犬同伴訪問を再開。 ・児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業 不登校生や、子供食堂の子どもなど困難を抱える子供に対し、犬のぬくもりや受容感を味わい、犬との遊びなどを通して元気になってもらいたいと力を入れている。
活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること	<ul style="list-style-type: none"> ・協会理事の一名は、香川大学大学院地域マネジメント研究科協力研究院として、当協会が県内の各機関と協働していく過程や成果を、関係学会などで発表、報告をし、人と動物の共生社会の実地的なロードマップやモデルケースを周知している。 ・2021年8月より、アニマルセラピー及び動物福祉分野における国内第一人者からのオンラインセミナーを通年にて、協会員が受講するなど、質の高い知識と実施技術について、向上心をもって学んでいる。また協会内でもセラピー活動の実践をよりよくするために、勉強会や講座等を実施している。 ・当協会の活動については、新聞等メディアにも報道されることがあり、社会性の高さが注目されている。当協会員の飼い主としての姿や社会貢献を犬と共にする活動は、県民への動物愛護や動物福祉についての啓蒙活動の一端を担う。

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。